

令和 6 年度 議員と語る会報告

場所 風テラスあくね

日時 令和 6 年 11 月 15 日 金曜日

18 時 30 分 ～ 20 時まで

出席議員

竹之内 和 満 議員 高 崎 良 二 議員

大 野 雅 子 議員 渡 辺 久 治 議員

川 畑 二 美 議員 白 石 純 一 議員

川 原 慎 一 議員 竹 原 信 一 議員

大 田 基 次 議員 牟 田 学 議員

木 下 孝 行 議員 山 田 勝 議員

濱 田 洋 一 議員 仮屋園 一 徳 議員

出席経済団体

阿久根市商工会議所 会頭 栢 寿一 様

副会頭 永 井 幸 枝 様

北さつま漁業協同組合 組合長 佐 潟 芳 蔵 様

参 事 屋 久 一 夫 様

鹿児島いずみ農業協同組合

代表理事常務 京田 提樹 様

理 事 尻無濱 俊 幸 様

阿久根駅前通り会 会 長 若 松 光 志 様

阿久根市大丸町通り会 会 長 福 崎 修 一 様

阿久根建友会 理 事 梶 原 久 志 様

理 事 大 野 建 様

阿久根市飲食店組合 組合長 福 永 光 伸 様

会 員 林 田 弥 生 様

阿久根市特産品協会 副会長 松 崎 勝 利 様

青年部会長 野 田 文 徳 様

内 容

1. 開会のあいさつ 仮屋園議長
2. 出席団体の紹介
3. 出席議員の紹介
4. 意見交換 テーマ「阿久根市の経済政策の課題」
5. 議会への御意見・御要望
6. 閉会のあいさつ 濱田副議長

意見、要望

阿久根商工会議所 梶 会頭

1. 阿久根市と台湾善化市の姉妹盟約から経済的交流の発展を出来ないか
2. 熊本 TCMC の社員などを観光誘致出来ないか
3. 会議所青年部を中心に温泉まつりはよかった。イベントをきっかけに大丸町から旧港辺りまでのにぎわいを作れないか

北さつま漁協 佐潟 組合長

1. 長崎、佐世保の各船団に営業に伺い水揚げ高アップに取り組んでいる。行政、議会の協力ももらい昨年は営業に行った。先方から行政、議会も一緒に来たという事で信用の度合いが増した。この勢いを持続させる対応をしている。
2. 現在、鹿児島県として一つの漁協にする合併の推進の取り組みが行われている。我々も県域合併に参加しなければという状況である。

鹿児島いずみ農協 京田代表理事

1. 米の高騰で JA が叩かれているが、これは農家がないからである。JA 鹿児島いずみの 6,000 人の正会員員の平均年齢が 69 歳であり、これを考えれば食を支えている方々は 60 歳から 70 歳であるという事になる。それで今できることは、農地の集約化である。この制度に議会からも力添えを頂きたい。
2. しっかりとした農業体系、生産基盤の整備を JA も取り組んでいる。阿久根市民の食を誰が作っていくのかという事を真剣に考えて頂ければと思う。

駅前通り会 若松 会長

1. 駅前通り会は組合員が減少して本会員が 10 人強ほどになった。阿久根の 5 年、10 年先の夢、希望をどう考えているか。
2. 旧港の再開発に駅から旧港までの散歩道あるいはサイクリングロードいいので作るべきでは。
3. 青果市場跡地に温泉施設建設を
4. 護国神社から光礁へ降りれないので修理を
5. 子育て支援の充実
6. グランビュー跡地の有効活用

大丸通り会 福崎 会長

1. 人口が減少している、今後広域合併の推進をしていくべき

阿久根建友会 梶原 理事

1. 発注件数を増やして欲しい
2. 専門業者への分類発注をして欲しい
3. 物価高騰で苦しいので、積算の中に経費相当分を上乗せして欲しい。

飲食店組合 福永 組合長

1. イベントを企画して行っているが、阿久根の宿泊施設が少なく阿久根市外からお越しのお客様の宿泊できる環境がない。環境が無ければ、イベント後に飲食店へつながらない。

2. 飲食店にきていただいたにしても、夜遅い時間のタクシー、代行がないのでお客様が少ない状況である。だから阿久根で飲食店を開業しようとする若い人も減る。イベントなどスポットで営業できる環境づくりをして欲しい。

特産品協会 松崎 副会長

1. 会員数の減少で協会の活動を出来ていない状況
2. 山形屋物産展がなくなり、関西ファンデーの規模縮小などでイベントに参加する業者も利益が取れないので減っている。
3. ふるさと納税を使い売上げを伸ばしていくべきだが、総務省次第と考えると今から次の手立てを考えていく必要がある。
4. 特産品協会も組織的に、飲食業、JA、通り会と密にしていいいものを作っていきたい。
5. まちの灯台、地域おこし協力隊と一緒にイベントをしている。これを生かし、地域ともコラボして活性化していくか。

意見交換

大田議員

昨年よりふるさと納税が減少していると思うが、原因をどのように考えるか

松崎特産品協会副会長

当社は増えているが、減っているのは総務省からの仕組みの変更で、単価が上がっていることが大きい

山田議員

天候の変化でみかんの収穫量が減っている。

京田代表理事

みかんは 7 割の収穫量である。気候変動が大きい。これも今からの課題である。贈答用シーズンの大将季の宣伝も、気候が温かいことで大将季の色が乗らず一週間延期した。これが他の品目にも影響がでている。

木下議員

洋上風力発電、道の駅、青果市場跡地、この 3 つを実現させていくことを議論している。洋上風力発電は 1 基当たりの固定資産収入が 5,000 万円、阿久根市沖に 15 基が計画されている。秋田に視察した際に漁礁効果、クレームのない事も確認された。

佐潟組合長

漁協では総代会を開催し反対と結論がでている。北薩の方では、北さつま漁協、川内市漁協が反対、串木野市が賛成の状況である。

山田議員

私は反対だったが、洋上発電の下に漁礁がついていることに前向きに捉えるようになった。

渡辺議員

2市1町の合併についてご意見をお聞きしたい。

若松通り会長

合併には反対。阿久根は阿久根の特徴を出して、人口を増やして欲しい。楽しい阿久根のまちとして作って欲しい。

竹原議員

合併すれば人口が増えるからと言って市民のくらしぶりや、住む人が幸せになるわけではない。市民お互いを幸せにする為にここに居たら気持ちがいいなと思われる自分たちの気持ち作りが先である。そうしないとますます若者が逃げていく。

松崎特産品協会副会長

子育て世代のパートで働いている方々には有休がない。わが子がインフルエンザなど

に感染したら 1 週間休まなければいけない、でも有休がないから休めない。あと 1 日か 2 日休めたらいいが休めないので、子供を幼稚園、保育園に預ける。預けられた幼稚園、保育園でまたウイルスのまん延で他の子供たちが感染する。そして保護者も感染する。負のスパイラルです。だから、パートで働いている方々に行政からの支援を考えて欲しい。

永井副会頭

市外からの観光客を増やす。甕島にはクルーザーが寄っている。阿久根にもつれてこれないか。協力隊が色んな活動をして観光の手助けをしている。この会もすばらしい会で、このような会でどんどん意見をもらい、その意見が公の場出ることが一歩だと思う。

竹原議員

阿久根が観光地に選ばれると大きな資本が入って、元々あった観光業はことごとく潰れるという事が起きている。では、阿久根市が税金を使って観光地を作ればいいのか、阿久根市役所には観光地を維持する力はない。役所がやるではない、この人でなければ出来ないようなものを見つけていくしかない。

白石議員

観光振興すると大手が入ってくるというのは、ひと昔前の話し。観光は、農業、漁業、

特産品販売、建設業に波及効果がある。事業者、個人が潤う為の観光をこれからはしなきゃいけない。阿久根は観光を重要な産業として育てなければいけない。公民連携して取り組んでいくべき。

若松通り会長

アーケード撤去後のバス停に屋根を付けて欲しい。

林田飲食店組合員

夜の営業のみの業種なのだが、タクシー、代行が早い時間に業務を終わるので私達も閉める。売上げが減る。タクシー業者、代行業者の負担軽減を出来ることはないか考えて欲しい。

川原議員

ライドシェアを含め、これからをどうやっていくか、行政に提案をしていく。

京田代表理事

芦北町が関東の行政とやっていることで、年間 5 人程の後継者育成をしているようなので、今から調査して来年から始めようと思っている。成人で農業をしたいという方を引っ張ってくるということを、今後取り組んでいく。そこは育てることと一緒にやっていきたいと思っている。